

総合型地域スポーツクラブとの連携プロジェクトでのマネジメント実践

団体名 ● 地域スポーツマネジメント研究室 (西村ゼミナール) / 代表者名 ● 西村貴之 (人間科学部スポーツ学科・教授)

はじめに

総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」)は地域のニーズや実情に即応し、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブである。総合型クラブには「新しい公共」の担い手として、地域が抱える社会的課題を多様な組織、団体との連携・協働によって解決していくことが期待されている。一方でスポーツ庁の調査結果では「クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保」を課題としている総合型クラブは多く、若手人材の発掘や育成が喫緊の課題となっている。筆者が担当する地域スポーツマネジメント研究室は、“スポーツで人と地域を幸せにする”を理念に掲げ、行政、NPO法人、地域スポーツクラブ、プロスポーツクラブ、企業、まちづくり団体などとの連携プロジェクトを実施し、にぎわいの創出、課題解決といった地域活性化の担い手となる、「地域スポーツマネジメント人材」の育成をめざしている。

活動内容

以下では総合型クラブと本研究室とが連携した3つのプロジェクトを紹介する。

(1) NPO 法人クラブぽっと(金沢市)

との連携プロジェクト

日程：2021年4月25日(日)

場所：金沢市医王山地区の田んぼ

参加：一般申込約30名、地域関係者約10名

本学学生15名

内容：NPO 法人クラブぽっとの主催イベントである「泥んこ運動会2021」に運営サポートスタッフとして学生が参画した。地域が保有する独自の地域資源を、スポーツを用いて活用し、地域の活性化を目指すイベントがどのような意図で開催され、どのような人々に運営が支えられ、その場が形成されているかについての理解を深めた。参加学生達は前日準備、競技ルールや物品配置のシミュレーション、イベント当日の受付、競技運営、子ども達への声かけやサポートなどの運営業務を実践した。



前日準備



前日シミュレーション



当日運営



当日運営

(2) NPO 宝達スポーツ文化コミッション(宝達志水町)との連携プロジェクト

日程：2021年11月23日(火・祝)

会場：宝達志水スポーツセンター

参加：一般申込42名(小学生)、地域関係者5名
本学学生20名

内容：コロナ禍で各種の行事がなくなった子どもたちに対して、様々な地域の小学生、大学生と交流するとともに、子どもたちの想像力や自由な発想存分に発揮することができる機会を提供することを目的として、「段ボールで秘密基地大作戦!!」を開催した。プログラムの内容調整、チラシ作成、集客・広報活動、予算策定、物品調達、会場設営、人員配置、当日進行、撤収作業に至るまでのマネジメント業務全般を、連携団体からの助言・指導を受け、学生が主体となって実践した。

(3) あそびの森かほく【指定管理者：NPO 法人クラブパレット】(かほく市)との連携プロジェクト

日程：2021年10月23日(土)、24日(日)

場所：あそびの森かほく

参加：体験者数321名(同伴保護者を除く)
地域関係者10名、本学学生35名



完成した秘密基地



作成中の様子



スケートボード



ボッチャ



作成中の様子



段ボール運びリレー



ストラックアウト



スラックライン

内容：老朽化や使用率低下という課題を抱えていた公共体育施設をリノベーションし、令和3年4月にかほく市子ども屋内運動施設「あそびの森かほくくる」が開館した。この取り組みでは「かほくくる秋の大感謝祭～祭りの森かほくくる～」のイベント内イベントとして、来場した子ども達に様々な遊びやスポーツを体験してもらい、体を動かすことの楽しさを伝えることを目的に「あそび体験スタンプラリー」を実施した。スタンプラリーではスケートボード、ストラックアウト、スラックライン、ボッチャ、輪投げなど全部で9つのブースを設けた。各ブースの内容やルール設定、チラシ作成、物品調達、設営、事前シミュレーション、人員配置、当日オペレーション、撤収、決算書作成などマネジメント業務全般を連携団体の助言・指導のもと、学生主体で実践した。

ここで取り上げた以外にも、NPO 法人かなざわ総合スポーツクラブ(金沢市)、NPO 法人もんぜんスポーツクラブ(輪島市)との連携プロジェクトが現在進行中である(2022年2月25日現在)。

成果、結果の考察

学生達の存在は、イベント参加者の中心である子ども達との良い距離感を生み出しており、参加者満足度を高めることに大きく貢献していた。

コロナ禍で多くの制約を受けながらも、コツコツ準備を進め、また、学生間や地域関係者との意思疎通をうまく図ることができずコンフリクトを抱える場面においては、「目的は何か」、「何のためにやるのか」を問い続け、対話を重ね、企画実現にこぎつけた学生達の努力への敬意を表するとともに、関係者の方々の温かいご支援への感謝の気持ちを伝えたい。リアルなフィールドでの実践経験を通じて学生達がたくましく成長する姿を何度も目の当たりにした。

今後の課題、展望

総合型クラブ、大学の双方が求める点について対話をつづけ、より良いプロジェクトにむけた設計改善と継続実施に取り組んでいきたい。そして、卒業後も何かしらの形で、スポーツまちづくりに関わることのできる人材育成を目指し続けていきたい。